

事業所名

放課後等デイサービスANERA

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

7日

法人（事業所）理念	仲間やお友だちと一緒に過ごすことで、相手を思いやる気持ちを育んでいきます。 運動や礼儀・集団行動等を学び、社会に羽ばたくためのスキル習得に向けた支援を行います。							
支援方針	一人一人の個性や特性に合わせた食事や身だしなみの整え方、将来の自立生活に向けた基礎的な機能の習得を目指します。 所内活動や、電車学習等の外出活動を通して社会参加を促進し、公共の場でのマナーやコミュニケーション能力を高めながら将来の余暇の幅を広げていきます。							
営業時間	10時	0分	から	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	時間に応じた行動の切り替えが行えるように、集団を活かし時間を意識して行動できるようになります。 生活スキルを身に着けるため、身の回りのことは自分で行えるようになります。健康的な生活の基本となる食の幅を広げるために、クッキングを通して様々な食材に触れ、好き嫌いを減らしつつ(低減しつつ)生活を豊かにしていきます。						
	運動・感覚	外遊び・レクリエーション・道場遊びを通して体を動かすことへの楽しさに触れていきます。 粗大運動・微細運動を取り入れることで日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持・強化や体の可動域の向上へと繋げていきます。巧緻性の向上を促す・習得するために指先を使ったレクリエーションを行っていきます。始まりの会や帰りの会、活動の始まりの挨拶では姿勢保持を促していきます。						
	認知・行動	始まりの会を通して曜日や日付・時間の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援を行っていきます。自分に入ってくる情報を適切に処理できるように、認知の偏り等、個々の特性に配慮しながら支援を行います。外部環境を認識し行動する力の育成を行っていきます。又自分で考えて行動に移せるよう状況に応じて声掛けを行っていきます。制作活動を通して形の大きさ、重さ色の違い等の習得へと繋げていきます。						
	言語 コミュニケーション	メイン活動や自由時間を通してお友達とコミュニケーションをとる環境設定を行っていきます。状況に応じた言葉を伝えることで気持ちの言語化へと繋げていきます。自分の感じたこと・思っていることを発信できるように個々の個性に合わせて絵カードや筆談を通してコミュニケーション能力の向上へと繋げていきます。困り感を他者に発信できるように支援を行っていきます。						
	人間関係 社会性	職員と親密な関係を基盤に、集団活動への参加を促していきます。また集団活動を通して順番や役割、ルールやマナー、感情のコントロール、他者を意識した言動等、社会生活で適応するために必要なスキルの習得を支援していきます。外出活動(電車学習・買い物学習など)を通して、マナーやお金の使い方を学んでいきます。						
家族支援	ご家族のレスパイトの時間を設けます。家族以外の人と関わることで新しいことに挑戦する場を提供します。送迎時や連絡帳を通じて保護者の不安や心配事に耳を傾け、いつでも相談できる環境を整えるように努めていきます。			移行支援		高校卒業後の進路や各関係機関と情報共有(学校・放課後等デイサービス・相談支援事業所など)を行っていきます。		
地域支援・地域連携	地域の行事に参加(お祭り・清掃活動など)し、施設や利用者の存在周知と理解に努めていきます。			職員の質の向上		全体会議で職員同士の意見交換や情報共有を行います。 事業所内研修や外部研修の参加。 研修の報告など自分自身のスキルアップに努めていきます。		
主な行事等	季節の制作、地域の人たちとハロウィンやお餅つき お花見、夏祭り、クリスマス会など 買い物学習・水族館・鉄道博物館・電車学習など							